

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	ソーシャルビジネス支援事業	会計	一般会計	事業No.	459	施策順No.	46-004	
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-2-11-3			
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	商業・市街地活性化課			
施策	46 活気ある街づくりの推進			事業期間	開始	21	終了	24

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	ソーシャルビジネス事業に興味がある人や既存の事業者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできてない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	飯田市民	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	意図	ソーシャルビジネス起業及び事業拡大						
	対象をどう変えるか	相談・支援件数	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	
				6	7	8	7	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		市が主催する健康教室の実施支援、高齢者専用賃貸住宅の経営に関する相談への対応、包括支援センター設置に向けた相談への対応などを実施することができた。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	ソーシャルビジネスサポーター2名を新規雇用により設置し、子育て支援、高齢者の介護予防・健康・福祉の増進といったソーシャルビジネスにトライしようとする方々の相談・支援事業、既存事業者の事業拡大や新規事業の開拓等の相談・支援事業を実施し、社会的課題の解決、産業振興、中心市街地における都市福利の増進を図る。事業は株式会社 飯田まちづくりカンパニーに委託する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 ソーシャルビジネス支援事業業務委託 ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの起業相談・支援 (1)健康教室の実施支援 (2)高齢者専用賃貸住宅の経営に関する相談・支援 (3)包括支援センターに関する相談・支援	1 委託先団体数 2 新規雇用者	1 1団体 2 2人
23年度実施計画	1 ソーシャルビジネス支援事業業務委託 ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの起業相談・支援	1 委託先団体数 2 新規雇用者	

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県) ふるさと雇用再生特別事業 (10/10)
	国庫支出金					
	県支出金		5,000	5,000	4,821	
	起債					
	その他					
一般財源						
計 (A)		5,000	5,000	4,821		
正規職員所要時間			100			
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			358			
トータルコスト A+B			5,358			

4 事業に対する市民や議会の意見

市民意識調査によると中心市街地において充実すべき都市機能として、「高齢者の生活支援」と回答した人が28.9%、「医療・健康づくり」が24.9%、また、「子ども・子育て支援」が24.8%と、都市福利サービスに対するニーズが高く、安心・安全なまちづくりの推進が求められている。

**5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】**

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

**6 前期4年間の取組評価(総括)**

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	中心市街地に人や物が集まり活気がある状態を目指す。	施策の成果指標又はムツ指標	まちなかの6スポットの1日当りの延べ歩行者数(本町1、銀座3、りんご並木、知久町1、駅前中央通り4)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・地域の雇用再生に向け、今後社会ニーズが増加が見込まれており、成長産業として注目される子育て支援や高齢者の介護予防・健康・福祉分野での雇用を創出すべく事業を開始した。		
	後期に向けた課題	・ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスの起業相談から起いかいに起業へとつながりが課題。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・市の事業である「はつらつ健康教室」に、ソーシャルビジネスサポーターをインストラクターとして関わらせることで、事業に相乗効果を生み出すことができた。		
	後期に向けた課題	・子育て支援などの福祉分野における、ソーシャルビジネスサポーターと市の事業との関わり方。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・常に最低限の経費で事業を行っている。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・子育て支援、高齢者の介護予防・健康・福祉の増進といったソーシャルビジネスにトライする方々への相談を通じて社会的課題の解決を図ることは市民が望むところであり、市の関与は適切と考える。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①市民、企業、行政が出資して設立した第三セクター「株式会社 飯田まちづくりカンパニー」が、市から委託を受けてソーシャルビジネスサポーター2名を新規雇用し、事業を実施した。 ②実績報告の提出を受け、事業に改善すべき点があれば指摘するなどの対応を行ってきた。		
	後期に向けた課題	・ソーシャルビジネスにトライしようとする人への相談・支援を通じた起業に向けたさらなるサポートと、さらなる都市福利の増進。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・市が主催する健康教室の実施支援、高齢者専用賃貸住宅の経営に関する相談への対応、包括支援センター設置に向けた相談への対応などを実施することができた。		
	後期に向けた課題	・相談業務から具体的な事業実施に至るまでのサポートや開業支援の件数増加が課題。		

**7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認**

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

**8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画**

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------